

大修館英語通信

# What's New!

10

October 2024

No. 8

特集

## 自己表現へとつなげるライティング授業

座談会：「書く力」を伸ばす英語の授業とは？  
教科書での学びを楽しくライティング活動へつなげるタスク『A new animal～新種発見！～』  
自己表現力を高めるタスクの実践  
大学入試を軸に考えるライティング指導

中邑光男・勝啓一・内林拓…3  
吉田絵美…6  
望月孝太…8  
新野元基…10

### 連載

巻頭エッセイ「わたしの英活」 井上銘…2  
見たかもしれない風景 河西遼…12  
SLA 研究にもとづく英語学習の動機づけのすすめ 廣森友人…13  
Question Box：英文法の「なぜ」？ 朝尾幸次郎…14  
教育ニュース / ホット1コマ あずきみみこ…15  
大修館 BOOKSHELF 金谷憲 / 和泉伸一 / 和田玲…19

### 『ベーシックジーニアス英和辞典 第3版』刊行

新しい『ベーシックジーニアス』が活躍する英語授業とは？ 石原健志…16  
英語学習に最適！「ジーニアス英和辞典」シリーズ …18

書くことをとおして  
自分を見つめる



上のQRコードから  
[大修館書店 英語教科書特設サイト]  
にアクセスできます。

## わたしの英活

# もう1つのことば「音楽」 をつなげる英語

井上 銘 (ギタリスト)



©Yuuki Oishi

自分にとって音楽は、日本語以外のもう1つのことばのようなものです。ジャズは人とコミュニケーションすることで成り立つ音楽。一緒に演奏すると、ことばより膨大な情報を得られる気がします。相手をよく理解できますし、向こうも心を開いてくれます。

日々、ライブハウスやホールなどさまざまな場所で演奏していますが、僕が活動を始めた十数年前に比べて海外出身のミュージシャンとの共演は増えています。来日する方に加え、日本を拠点にしている方も増え、ミュージシャンとしてもポジティブな流れを感じています。月の半分は海外出身の方と演奏する機会がありますし、インバウンドで海外からのお客様も増えています。

英語圏に限らず、香港や韓国などアジア出身の方とも英語でコミュニケーションするので、日常的に英語を使う必要に迫られています。音楽を作る上でも、同じことばで話せる方が相手の本来の人間性に触れられますね。

英語は今も勉強中ですが、臆せず話そうと努めています。会話の中で覚えた表現を使ったり、海外のミュージシャンのインタビューを英語で聞いたり読んだりしています。翻訳では伝わりにくいニュアンスを感じ取れますし、受け答えの言い回しなども学べます。特に音楽の微妙なニュアンスを伝える上で語彙力は重要なので、目に留まった単語はメモしたりしています。

先日、自分のカルテット (May Inoue Tokyo Quartet) でレコーディングしました。ドラムに石若駿、ベースに

豪州出身のマーティー・ホロベック、ピアノに米国出身のデイビッド・ブライアントという編成です。収録中、あるコードに少しニュアンスを加えようとしてジャストな表現が見つからず、英語で伝える難しさを感じました。色に例えていうと、赤い屋根を塗る際に少しだけ黄色味を持たせるといった微妙なニュアンスです。演奏しながら説明することでうまくいきました。

高校卒業後、ボストンの音楽大学で学んだり、ニューヨークに滞在したりした経験があります。当時はそれほど海外志向は強くありませんでしたが、十数年経って、その当時の仲間とSNSなどを通じてつながり、国内外で共演する機会ができています。

海外のミュージシャンと接すると、日本文化が好きな方が多いのに気づきます。日本のジャズ、いわゆる和ジャズの曲に興味を持って演奏している方もいますし、ゲームやアニメなどは僕よりくわしい方もいます。自分の親の世代などには海外コンプレックスのようなものがあつたかもしれませんが、むしろ、いまは気後れせずに日本の文化やスタイルを大事にすることで、より才能豊かな人々と出会える気がしています。

音楽好きなら、音楽を第2のことばとして突き詰めることで国内外を問わず人とつながることができます。音楽に限らず、物事を深く知ろうとしたら、世界の人々がどのようにとらえているかを知れると良いですし、その際に言語がわかれば一層楽しめると思います。

## Profile

### 井上 銘 (いのうえ めい)

ギタリスト。1991年神奈川県出身。2011年10月メジャーデビュー。以後、計5枚のリーダーアルバムをリリース。2017年には自身のユニット“STEREO CHAMP”を結成し、これまでに3枚のアルバムをリリース。さらにPOPSユニット“CRCK/LCKS”(クラックラックス)での活動や、海外のトップミュージシャンとの共演、香港・ロンドン他海外での活動も活発で、世界を視野に入れた演奏活動には各方面より注目が集まっている。

\*初の書籍『ジャズ深掘りトーク・セッション』(魚返明未・井上銘・石若駿著、大修館書店)好評発売中!

May Inoue Tokyo Quartet  
Live at WWW

日時 11月13日(水) 19:30開演  
場所 渋谷 WWW

## 「書く力」を伸ばす英語の授業とは？



Mitsuo Nakamura



atsuo



中邑光男 × 勝 啓一 × 内林 拓

英語 4 技能の 1 つ「ライティング」。「ライティング」と言っても、センテンスレベルの和文英訳からパラグラフライティングまでさまざまな形があり、指導の方法もさまざまです。今回は、長年英語教育に携わり、『ジーニアス英和辞典』『同和英辞典』の編集主幹でもある中邑先生、長年高校で指導をされていたベテランの勝先生、今まさに高校で指導をされている若手の内林先生に、ご自身の取り組みや指導、評価の方法について語っていただきました。（聞き手：編集部）

※この座談会は 2024 年 8 月にオンラインで行いました。

— まずは高校で指導経験がある勝先生、内林先生から、授業で行われた「書く」活動を教えてください。

**勝**：これまで高校 4 校に勤務しました。進学校では生徒のニーズから和文英訳の指導を中心に行っていましたが、その後の 2 校では教科書にあるテーマをもとにしたライティング活動が主でした。完全に自由に書くのは難しい生徒も多かったので、タスク型というか、テーマや設定を指定する方法は有効でした。「何を書けばよいかわからない」という生徒

には、スパイダー図などを使って話を広げられるような支援をしました。

**内林**：私は前任校、現任校とも、タスク中心でライティング教材を使った英作文を主に行っています。和文英訳を指導するというよりは、活動の中にライティングを取り入れるというのが近いです。

— 授業の流れとしては、ライティングはどこに位置づけられますか。

**勝**：ライティングの課題は教科書の

Unit 末に掲載されていることが多いので、最初に予告をして心構えをさせ、最後の 5 分でやりました。

**内林**：私も自由英作文に関しては、教科書レッスンの最後にタスクアクティビティとして設定しています。やはりレッスン冒頭で生徒に予告することが大切だと思います。「論理・表現」の授業では教科書のモデル文の型を意識して学び、その型を踏まえて書く練習をする機会を設けており、書くことを念頭に置いて授業を受けてくれます。

——大学では講義や授業の中でライティングに取り組むことはありますか。

**中邑**：私はプレゼンテーションが主体の授業を行っています。プレゼンは内容作りが大切ですが、それは日本語で行って、英語に直します。そのため日本語能力が必須ですし、和文英訳の力も必要です。

**勝**：私の実感や中邑先生のお話から、英語教師は英語の力だけでなくプレゼンのアイデア出し、内容・文章の論理性といった英語以外の力とその指導力が必要になっている気がします。

**中邑**：そうですね。英語ライティングの指導では英語の指導だけでなく、それ以外の分野もカバーする必要があります。論理の組み立て方、論理的な話し方はユニバーサルな能力なので、指導したいし身につけさせたいですね。

——英文の内容だけでなく、文法的な正確性を見る機会はありますか？

**勝**：高校3年は受験を意識して文法の正確性を気にするので、文法指導の機会も増えます。中邑先生のおっしゃった学問的ユニバーサルな能力を身につける必要もあるので、1～2年は内容重視でそうしたところを

固め、3年で内容も文法も見の方がいいかなという考えです。

**内林**：文法を意識しすぎると内容がおろそかになるので、バランスが本当に難しいです。私は「英語コミュニケーション」は内容重視、「論理・表現」は文法重視でやっています。勤務校の生徒は、文法問題を解く力は身につけていますが、学んだ文法事項を使ってアウトプットする、活用できる段階にはたどり着けていないと感じますね。

**中邑**：勤務する大学では英語が苦手な学生も少なくないので、私の場合は『ジーニアス総合英語』を使って指導し、質問を受け付けたり、毎週テストを行ったりしています。近年は学生の英語基礎力が不足している前提で、英語力全般を補うよう心がけています。

**勝**：私が勤務している大学でも、英語が苦手な学生が多いです。高校で習ったはずの文法事項を忘れていて、あるいは文法問題は解けても、正確に読んだり書いたりする力が不足していると思います。

——「流暢さ」を見る基準などはありますか。

**内林**：流暢性はスピーキングの方で意識します。ライティングは語数を

指定することが多いので、時間内に書けるかななどは見ますが、評価の主眼にはしません。

**中邑**：読み手としては、話題が滑らかに繋がっているかが大切です。学生が書く文章だと、パラグラフをつなぐ語句や文が抜けいたり、論理が飛躍してしまっていたりすることがあります。ですから、論理の流暢さが大切だと思います。

**勝**：私も中邑先生と同じ意見です。論理が繋がっているか、一貫性があるか、といった観点の比率を高めた採点を行っています。高校でも内容について重点的にフィードバックすることはよく行いました。また、リテリングを書く活動として行ったこともあります。リテリングをした後に書かせると、生徒は文法的な観点についても気をつけるようになります。

**内林**：リテリングはよくやります。各パートのまとめとして行うことが多いです。

——これまでのお話はある程度「書ける」前提でしたが、「書く力」を伸ばす取り組みはどうでしょうか。

**内林**：「書く力」の要点は文法の力や論理とその一貫性だと思います。論理性・一貫性については、構成や

## Profile

中邑光男 (なかむら みつお)  
関西大学商学部教授

『ジーニアス和英辞典』の校閲より「ジーニアス」シリーズの執筆編集に携わり、現在、『ジーニアス英和辞典 第6版』、『アクシスジーニアス英和辞典』、『ジーニアス和英辞典 第3版』編集主幹。辞書の他、『ジーニアス総合英語』の編集主幹にも名を連ねる。



展開の順序などの「型」を教科書のモデル文などを使って教えています。加えて、たくさん書くことが大切だと思うので、書く機会を多く設けています。

**勝**：実業系の高校や専門科では、英語の単位数が普通科に比べて限られているので、授業の中でバランスよく指導するようにしていました。

**中邑**：ライティングはアウトプットにあたりますが、限られた授業時間でインプットはどうしていますか。

**内林**：インプット・アウトプットのバランスは悩ましいです。私は「英語コミュニケーション」ではインプットがメインで、最後に少しアウトプットという流れです。本当はもう少しアウトプットに取り組みたいのですが、現状は文法や音読、読解などのインプットで7割くらいです。

**勝**：インプットを増やすことはアウトプットの幅を広げることに繋がりますよね。大学では文学作品に触れることで、豊かな英語の表現を学ぶことも行っています。

**中邑**：勝先生のインプットの話に少し関わりますが、大学では、英語を流暢に話せる学生が昔と比べて増えているものの、英語を書かせると肝心の内容がボロボロなことが多いです。大学では、流暢に話すだけでは

なく、ライティングを通じて伝えたい内容を効果的に伝えられるよう指導しています。

——多数の英作文をどのように、またどの程度添削・評価されますか。

**勝**：商業高校に勤務したときは、文法よりも内容を重視した添削や評価を行っていました。内容に関する質問を重ねて完成させていく方法を用いました。文法事項について指摘するよりも、内容についての質問の方が生徒自身も自分の考えが深まるのでよかったですと思います。文法は、クラスに共通して多かったミスを取り上げ、クラス全体で共有する形を取りました。

**内林**：添削に関しては悩みが付きません。以前は文法も細かく見ていましたが、時間と労力がかかるわりに生徒は赤字を見直してくれないどころか、赤字が多いとショックを受けられることもあり、加減するようになりました。勝先生同様、よく見られるミスはクラスで共有しています。

また、課題にAIを使う生徒があり、自分は何を添削しているんだろう、という気持ちにもなったことから、添削は希望者のみに行い、添削された内容を確認してリライトさせるところまでを1セットで行う場合

もあります。

**勝**：クラスによっては生徒同士での添削も行いました。内容に関しては生徒同士で確認・修正して提出されるので、教師の負担が減らせます。

**内林**：私もやったことがあります。具体的な指摘が難しい場合は、気になるところに下線を引かせる程度でも、生徒自身が見直すきっかけになって効果がありました。

**中邑**：私はプレゼン原稿を添削することが多いのですが、大学生も添削しすぎると落ち込んでしまいます。そのため指摘は10箇所までなどと決めて、その範囲内で行うなど、少し手を放すようになりました。さらに、生成AIの力も借りて、教員は生成AIには難しい、内容に関する添削に時間を割きます。

**内林**：私も生成AIを使ってみて、内容的な指導に時間が割けるようになりそうだということは実感しています。

**中邑**：「達意の英文を書く」ことは、英語教育の最終目標だと思います。単に英語ができるだけではなく、英語的な考え方をし、質の高い情報を取り入れて内容や構成をまとめる、とハードルが高いですが、そこに臆さず試行錯誤しながら取り組んでいきたいですね。



## Profile

**勝 啓一** (かつけいいち)  
大和大学教育学部教授

滋賀県の県立高校・教育委員会勤務を経て、現職。『ジーニアス英和大辞典』などに携わる。

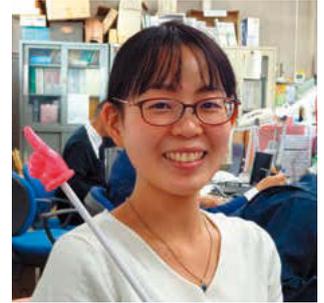
**内林 拓** (うちばやし たく)  
滋賀県立石山高等学校教諭

生徒のモチベーションを引き出す授業を心がける。弘済会しが教育賞ユース部門入選。



## 教科書での学びを楽しくライティング活動へつなげる タスク『A new animal ～新種発見！～』

吉田絵美 (よしだ えみ)  
岡山県立笠岡高等学校教諭



### 1. ライティング・タスクの概要

このライティング・タスクは、私が以前勤めていた工業高校の1年生を対象としており、旧学習指導要領の「コミュニケーション英語」という授業で扱ったものです。ある教科書でパンダの生態について学ぶリーディング活動があり、生徒たちはそこで動物の外見的特徴や生態を説明する表現を学習しました。例えば、“fur”や“muscle”と言った単語や、外見的特徴を表す“cute”“round”“attractive”といった形容詞を学びました。また、第5文型に触れ、英文の基本的な構造について初めて学習しました。教科書の学習項目をアウトプットの活動につなげるために、リーディング活動の後に“A new animal ～新種発見！～”というライティング・タスクを設定しました。内容としては、新しい動物を自分で考え、新種の動物を発見したという設定でその動物の特徴を説明した報告書を英語で作成するというものです。参考にしたのは『中学校英語サポート BOOKS 帯活動で書く力がぐんぐん伸びる「3分英作文」の指導アイデア』（明治図書）の中の「A new animal 新種発見！新しい動物を考えよう」です。当時私が担当していたデザイン科、建築科、情報技術科は絵の得意な生徒が多くいたため、新種の動物を描いて報告書の中に貼付することもタスクの中に含めました。

### 2. 生徒のライティング活動に対するサポート

#### ① 文の型と例文の提示

対象の生徒たちの英語力を考え、文の型と例文は予め示しました（【図1】参照）。型に沿って書くことでタスクの難易度を下げるとともに、安易にインターネット上の翻訳サービスを使うことを未然に防止する意図もありました。ただ、本来ならもっと長くて複雑な構造の文が書ける生徒もいるので、必ずしもこの文の型にはまっていなくても良いことは伝えました。

#### ② エラーの自動チェック

当時は校内で1人1台端末が実現した最初の年で、このライティング・タスクは初めて Google Document で作成し、Google Classroom で提出させました。生徒は Google Document の使い方に慣れていなかったため、スペリングミスや文法上のエラーの確認方法を授業の中で教えました。これにより、生徒が自分でミスやエラーに気づいて修正する習慣ができ、自律的な学習へと導くことができます。また、教員側のチェックする時間も大幅に減り、ライティング課題の障壁となっていた教員側のチェックとフィードバックにかかる時間的負担が大きく解消されました。

#### ③ 授業内でのフィードバック

このライティング・タスクの目的や内容を説明したり、Google Document の使い方、Google Classroom での課題の提出の仕方などを教えたり、書き出しをスムーズにサポートしたりするために、1時間ほどは授業の中でライティング活動の時間をとりました。私自身が英語に関してフィードバックを提供することもあれば、生徒同士が新種の動物のアイデアやイラストを描くアプリの使い方などを話し合う場面もありました。デザイン科、建築科、情報技術科という科の特性上、「新種の動物を考える」というクリエイティビティが求められる活動は対象の生徒たちに合っており、英語が苦手な生徒も楽しそうに取り組んでいた印象です。

約1週間後に1回目の提出締め切りを設け、主に英語のエラーについてフィードバックをし、その更に1週間後に評価の対象となる完成品の提出の締め切りを設定しました。

#### 3. ピア・フィードバック

全員の提出が確認できたら、授業の時間を使って他の生徒が書いた新種の動物の報告書を読むリーディング活動の時間を設けました。既習事項が様々な生徒のライティングに使われているため、他の生徒の報告書を読むことで学びを強化し

【図1】生徒に示した文の型と例文

書き出し (全員同じ) One day, I found a new animal.	食べ物 ・ It mainly eats (bamboo). ・ It likes (bamboo juice). ・ It sometimes eats (vegetables and fruits).	日中は何をしている？ ・ It (usually sleeps in a rubbish can ) during the day. ・ It (goes hunting in a forest) during the day.
名前 ・ Its name is (Pandog). ・ I named it (Pandog).	住んでいる場所 ・ It lives (in mountains). ・ It lives (in a rubbish can in my garage).	夜は何をしている？ ・ It (often goes hunting around the lake) at night. ・ It (sleeps on a tree) at night.
外見 ・ It has (black and white) fur. ・ It has (very short legs).		ペット向き？ ・ It is (very friendly to people). ・ It is (sometimes very dangerous) so it (won't be a good pet).

定着させる助けになります。また、既習事項が多いと辞書を使わず理解できるため、「多読」的な要素を含んだリーディング活動としても機能すると考えました。なにより、他の生徒の作成した報告書は興味があるので、どの生徒も熱心に楽しそうにこのリーディング活動に取り組んでくれました。

進め方としては、Google Drive 上にある3クラス分（デザイン科、建築科、情報技術科）の報告書を閲覧できる設定にし、リンクを生徒に示しました。コメントシートを各生徒に4枚配布し、2枚は他クラスの同じ出席番号の生徒の報告書についてコメントを書くように伝えました。私が勤務していた工業高校は他クラス（つまり、他の専門科）の生徒と交わる機会が部活動以外ではほとんどないため、このリーディング活動を通じて専門科を超えた交流ができるようにしました。そして、コメントシートの残りの2枚は、自分の友達や、知り合いでなくてもいいので素晴らしいと思った報告書についてコメントを書くように伝えました。ちなみにコメントは英語でも日本語でもよいことにしました。生徒たちは時間いっぱい熱心に他の生徒の報告書を読んでおり、時折くすくと笑ったり、「絵が上手！」「英文が分かりやすい！」と周囲の生徒と話していたりしました。

後日、ポートフォリオの一部として、各生徒の作成した報告書は全て印刷し、他の生徒からのコメントシートとともに透明なファイルに入れて返却しました。（どの生徒も他クラスの同じ出席番号の生徒からコメントシートがもらえるので、誰からもコメントシートがもらえない状態を作らないように予め工夫はしていました。）コメントでは誹謗中傷はせず、ポジティブなフィードバックをするように伝えていたので、コメントシートを読んでも嬉しそうにしている生徒の表情が見てとれました。

#### 4. 評価

評価については、旧学習指導要領の外国語の評価の観点で言うところの「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」と「外国語表現の能力」として評価しました。「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」は、「既習事項を使おうとするチャレンジ精神（1点）」「内容のおもしろさ（3点）」「イラストや文字の色、フォント等による視覚的な工夫（2点）」の項目を含みます。「外国語表現の能力」は、「英語の正確さ（4点）」の項目を含んでおり、合計10点満点として採点しました。「内容のおもしろさ」については、図1の例と同じぐらいの分量（つまり、情報量）であれば3点とし、分量を基準と

した減点方式としました。「視覚的な工夫」もイラストと文字の見せ方の工夫（色やフォントサイズなど）があれば2点とし、あとはイラストがなければ1点減点、文字の見せ方に工夫がなければ1点減点のように、単純な減点方式としました。

#### 5. 改善点

文の型や例文を示したことにより、ライティング・タスクの目標の一つとしていた第5文型を意識した英作文については、多くの生徒が達成できていません。また、評価についても、それぞれの項目の配点について特に基準がなく、改善の余地があります。コメントシートも回収して生徒ごとに渡すには手間がかかるため、その後はオンライン上にコメントを残すように変えました。

英作文はその後も続け、同じ生徒を対象に「SDGsに関連した発明品を作ろう」という英作文をしたり、3つのクラスと同じ出席番号同士で英語による交換日記をしたりしました。交換日記は教科書に登場した新しい言語項目をなるべく使うように指示することもありました。タスクそのものをおもしろいものにしたたり、ピア・フィードバックを伴う活動にしたりすると、英語の時間数が少なく英語力に自信のない工業高校生でも意欲的にライティング活動に取り組むことができました。

【図2】生徒の作品例



One day, I found a new animal. Its name is **Miumiu**. It has **pink fur** and a round body and has wings. It likes dumplings and its favorite drink is **green tea**. It lives in the clouds. **Miumiu** can fly in the sky. **Miumiu** loves to take a walk. During the day, it observes people. During the night, **Miumiu** sleeps in the clouds. **Miumiu** speaks in Kansai dialect. It uses language well. Our family loves this strange animal.

## 自己表現力を高めるタスクの実践

望月孝太 (もちづき こうた)

静岡県立静岡城北高等学校教諭



### 1. はじめに

筆者は教職9年目を迎える英語教師です。大学院では英語教育を専攻しました。大学院での学びも踏まえて、現在、言語習得で最も効果的だと感じているのが、タスク中心の言語教育 (task-based learning teaching, 以後 TBLT) です。TBLT で想定されるタスクは、生徒に自然な英語の使用を促し、自己表現を可能にさせます。タスクとは、以下の3つの条件を満たす言語活動のことを指します (松村, 2009)。

- (1) 意味のやり取りに焦点を当てた活動
- (2) 課題としてのゴールを持つ活動
- (3) 自然な言語使用の際と同等の認知プロセスを要求する活動

例えば、Spot the Difference (間違い探し) というタスクは、ペアで絵の異なる部分を英語のやりとりだけで見つける活動です。ペアで協力しながら自分の絵の情報を英語で伝え (上記 (1) に該当)、情報交換し、全ての間違いを見つけることを目指します ((2) に該当)。このようにある目的を遂行するために情報の溝を埋めようとするやりとりは、日常で十分に行われ得ると考えられます ((3) に該当)。しかし、筆者の実感では、現場ではこうした TBLT 型指導よりも、PPP (Presentation-Practice-Production) 型指導が主流となっているように感じます。筆者は、英語を使えることを目指す現在の英語教育においては、タスク、すなわち、TBLT 型指導を推進していくべきではないかと考えています。

### 2. タスクが自己表現につながる

筆者は大学院で初めてタスクを体験し、その素晴らしさを実感しました。印象に残っているタスクは、Picture Reproduction (絵の複製) です。ペアになって、説明者が持っている絵を描き手が再現するという活動です。説明者は英語で適切に情報を伝える必要がありますが、自分がその立場になると絵に関する情報を全く説明することができませんでした。この経験が、「本当の自己表現とは何か」について熟考

するきっかけになりました。それまで筆者は、習った英語表現を覚えて、再現することが「自己表現」だと思っていました。しかしタスクを経験してはじめて、「ある目的を遂行するために、自分の言いたいことを伝えること」が「自己表現」だということに気がつきました。田中・田中 (2003) では、自己表現を「自分の知っていることや考えていること、あるいは自分の気持ちを他者に表現すること」と定義し、文法ドリルといった、自分には馴染みのない内容を練習することとは区別しています。そして、自己表現を中心にする授業の特徴として、以下の4点を挙げています。

- ①自分の考えや思いがある
- ②目的達成の手段としての言語活動がある
- ③他者との関わりがある
- ④自己との関わりがある

この4点が上述したタスクの条件に類似していることから、タスクを行うことが自己表現につながると考えられます。

授業でこうしたアウトプット活動を行う際は、彼らの言いたいことを引き出すように工夫しています。Spot the Difference や Picture Description など帯活動として実施したり、次に紹介するタスクを軸にしたライティング活動を行ったりして、生徒の自己表現力を高めようと努めています。

### 3. 「静岡城北チェーン・レター」の紹介

筆者がよく実施するタスクがチェーン・レター (三浦ほか, 2002) です。これは、4人のグループで、あるトピックについての意見を英語で書き、交流するライティング活動です。それぞれの意見を書いた「レター」を隣の人に渡して、さらにその隣にとつなげていきます。ポイントは、必ず受け取ったレターの意見に反対する内容を書くこと、意見を書く際は説得力のある内容になるよう意識させることです。反論するには相手の書いた英文を読み、理解しなければならず、自ずと意味のやりとりに焦点が当たります。加えて、書かれ

た意見に対して、「説得性を持たせて反論する」という課題が生まれ、現実世界でも起こり得るだろう自分の置かれている立場で意見を伝える、という状況を生み出します。これらを踏まえると、チェーン・レターはタスクだといえます。

時間に関していえば、筆者はチェーン・レターの所要時間を5分×4回の20分に、前の人の意見を読む1分を加えた24分を基本としています。最初は5分以内に書ききれない生徒がいますが、次の人の持ち時間に影響するため、必死で書き終えようとし、筆者も机間指導をしながら生徒を励まし、なるべく5分以内で書き終えるよう促しています。最初は自分の意見に自信を持たず、自己表現を諦めてしまう生徒もいますが、「この意見はあなたならではの視点で、あなたにしか書けない意見だから、自信を持って、具体的に書いてみて。」と勇気づけることで、生徒は自己表現をする勇氣が湧き、書けるようになります。レターが回ってくると、生徒同士で「この英文は一体どういう意味なの？」や「これって、こういうことだね？」といった内容の確認をするやりとりをしたり、わからない単語を調べたりしています。こうした行動が、チェーン・レターがタスクである証拠だと言えます。

さらに、筆者はこのチェーン・レターに筆者の勤務する高校（以後、勤務校）ならではの取り組みを盛り込み、これもタスクとしています。勤務校では、全校でオンライン英会話を行っているため、オンライン英会話で海外の講師とチェーン・レターで扱うトピックについて事前に意見交換をします（タスクの条件（1）（3）に該当）。講師から得た意見や視点（タスクの条件（2）に該当）は賛否を述べる際の絶好のネタになります。そういった意味では、チェーン・レターに海外の人とのやりとりは必須です。そして、このオンライン英会話もタスクにすることができます。

このようにタスクの発想を盛り込むと、チェーン・レターの反論の内容が豊かになり、盛り上がります。オンライン英会話で得た情報はワークシートにまとめ、チェーン・レターの際に持参してよいことにしています。

#### 4. 「静岡城北チェーン・レター」の実践例

ここからは実践例を挙げます。今年度扱ったトピックは“We should introduce a sugar tax.”です。これは勤務校で使用している論理・表現IIの教科書で紹介されているトピックです。このトピックでチェーン・レターを行うためには、sugar taxに関する知識、導入に対するメリットとデメリットの洗い出し、そして、それらを表現する言語材料が必要です。まず、教科書に沿ってこれらを学習し、自己表現につながるよう指導します。教科書で紹介されている sugar tax 導

入に対する意見は以下です。

- ・肥満や高血圧などの病気を予防するために、sugar tax の導入に賛成である。人々は sugar tax を払うのを避けようと、砂糖を含まない飲料水を選択するようになるだろう。
- ・高校生の立場では、sugar tax の導入に反対である。高校生は炭酸飲料水をたくさん飲むので、金銭的な負担が増えてしまうかもしれない。

生徒には、これらの意見を鵜呑みにしないよう伝え、まずペアになって自分の意見を伝え合うスピーキング活動を行いました。こうした指導がチェーン・レターの充実につながります。その後、このスピーキングを基に、オンライン英会話を実施しました。既に sugar tax が導入されている国に住む講師からは、「sugar tax は少額で全く負担感はなく、金銭面から反対とはいえない」など様々な意見をもらいました。英会話のあと、講師らの新しい視点や驚いた意見等を全体で共有し、ワークシートに記録しました。

こうした事前の取り組みのおかげで、本番のチェーン・レターでは、多くの生徒が自己表現することができました。書かれた反論も、多角的な視点を含んだ英文が多く見られました。書くだけでなく、グループの他のメンバーが書いた反論文を真剣に読むも印象的で、生徒にとって深い学びの時間であったと感じました。活動後の定期テストのライティング課題からも、生徒の自己表現は確実に身に付いていると感じました。定期テストだけでなく、外部試験の結果（「表現力」の項目）も、本校の近年の中で著しく高い正答率を挙げることができました。結論としては、チェーン・レターをはじめとするタスクの導入が生徒の自己表現の伸長を促進させたといえると思います。

#### 5. おわりに

本稿では田中・田中の自己表現を実現するための方法としてタスクを取り上げました。ただ、英語教育の在り方は時代とともに変わっていくと思います。タスクが絶対だとは言いきれない状況もあるでしょう。英語教師として忘れてはならないのは、アップグレードし続けていくことだと思います。授業という時間の制約がある中で、「今の時代の」生徒たちに最適な方法を、これからも考え続けていきたいと思います。

#### 参考文献

- 田中武夫・田中知聡（2003）『自己表現活動』を取り入れた英語授業』大修館書店
- 三浦孝・弘山貞夫・中嶋洋一（2002）『だから英語は教育なんだ一心を育てる英語授業のアプローチ』研究社
- 松村昌紀（2009）『英語教育を知る58の鍵』大修館書店

## 大学入試を軸に考えるライティング指導

**新野元基** (しんの もとき)  
河合塾講師



### 1. はじめに…予備校の現場で感じること

河合塾では主に東京大学・京都大学・一橋大学をはじめとする最難関大学を志望する高校生・高卒生を指導していますが、近年、特に大学入学共通テストの実施後、生徒さんが有する英語力の性質がだいぶ変わってきたと感じています。確かに、コミュニケーションを重視した英語教育が各高校で浸透したこともあってか、発音が優れ、リスニングを得意とする生徒さんは以前より増え、高校1年生や2年生の段階で英検準1級を取得する生徒さんも珍しい存在ではなくなりました。一方で、そういった資格を持ち、自身は英語に苦手意識がない生徒さんでも、実際の英作文や日本語訳の答案を見ると、一昔前であれば英語の基礎力が欠けているとみなされていた答案とあまり変わらない状況にある人が少なくありません。

以下の答案例は「新たな祝日を設定するなら、あなたはどのような祝日を提案したいか」という2019年の東京大学の入試問題に対する受験生の再現答案の1つです。この受験生は、東京大学に現役合格を果たし、しかも当日のリスニングは満点という一般的には英語が相当得意だと思われる生徒さんですが、以下のライティングの答案には文法・語法上の問題がかなり含まれていることにお気づき頂けると思います。このように、「英語は得意」と思っている人の中にも、本当にできる人とそうでない人の二極化が進んでいるように感じます。

If another festive day was going to be established, my idea for it is a day that appreciate the natural environment. On that day, people can learn and talk about the environment and thank it. I think this day should be established because recently people are damaging the environment. By establishing this day, people will at least have one day per year to think how we can preserve the environment.

日本語を介した英語学習が避けられつつある中で日本語訳ができない生徒さんが増えるのは当然かもしれませんが、特に差を感じるのは英作文です。本稿では、これまで多くの生徒さんの答案を指導・添削してきた経験をもとに、大学入試で求められるライティングの力と実際の生徒さんの状況から感じるギャップについて整理しつつ、実際の指導で留意している点について述べていきたいと思います。

### 2. 入試問題から見える英作文問題の多様さ

高校生が大学受験以前に触れるライティングの問題といえば英検などの民間試験が大半だと思えますが、民間試験と大学入試のライティングの最大の違いは「出題形式の多様さ」にあります。

民間試験の場合は同じ人が繰り返し同じ試験を受験することを前提に、スコアの比較のために毎回同じ形式の問題が出題されます。一方、このような配慮が必要ない大学入試では、同じ形式の問題を繰り返し出題する必要がありません。特に近年の国公立大では、型にはまったライティングを避けるためか、同じ形式をあえて避けて出題しているようなケースが増えてきています。

また、多くの高校生が受験する英検では、あるトピックに対して自分の意見を書く「意見作文」型が出題され続けているため、多くの生徒さんがこの形式に慣れてきていますが、同様の形式が大学入試で多く出題されているわけではありません。例えば、名古屋大は、2024年に「ミューラー・リヤー錯視」と呼ばれる2つの線分を示し、その図の説明とそこからわかる人の知覚のあり方について説明させる問題が出題されるなど、グラフや図表に関連する問題が続いていますし、北海道大や東北大のように関連する英文を読んでから論述するタイプの問題や、2024年の九州大の「人口減少の利点」を説明させる問題のように、一見英検と同じような意見作文の問題であっても、単純に賛否を述べるだけではないものが増えて来ています。大学入試に向けたライティング指導では、1つ

の型にはめた書き方を指導するのではなく、様々なテーマに対して経験を積ませることが必要だと考えています。

### 3. 出題意図から指導の観点を探る

大学入試でいわゆる「自由英作文」という形式が出題され始めてから、その採点の方法については様々な議論がありました。実際に、英作文の問題は採点基準次第で同じ答案でも得点は大きく異なるものとなるでしょう。したがって、大学合格を目的としたライティング指導では、採点基準を意識した指導が必要となります。

残念ながら、大学入試で採点基準をオープンにしている大学は東京外国語大などごく一部に限られています。それをうかがい知ることができるのが各大学が発表する「出題の意図」です。前述した2024年の名古屋大の問題であれば「錯視図形を題材とし、込み入った内容を英語でわかりやすく説明する力、ならびに自身の考察を明瞭な英文で表現する力を測定する」と書かれているのですが、東北大のように採点講評も含めて掲載されている大学もあり、指導の際に指導者側が何を意識すべきか参考になる情報がたくさんあります。

総じていえば、大学入試の英作文では、内容面（一貫性や論理展開など）と表現面（文法や語法の正確さなど）の双方が問われています。これは当たり前と思われるかもしれませんが、スピーキングでの指導をライティングに援用し、「間違えてもいいからまず書いてみよう」という指導はかなり多くの高校で行われており、その結果「表現面」の指導は軽視されがちのように思います。当然のことながら、センテンス単位で正確性を著しく欠いた英文を何文集めても意味を成すものではありません。予備校のライティング指導では志望大に関わらず和文英訳を行うことが今でも少なくありませんが、生徒さんが正しく使える表現を増やすためには、自分が言いたいことだけではなく、指示された内容を英文にするという和文英訳の指導も時には有効なのではないかと思います。

### 4. 答案添削は指導者が学ぶ場でもある

予備校講師は講義をするのが仕事ですので、生徒さんの答案の添削は一切しないという選択も可能です。ただ、私の場合は毎年多くの答案の添削をしています。その理由は、自分の指導のあり方をブラッシュアップするために一番の題材は生徒さんの答案だと思うからです。内容面でどのような観点を授業で取り上げればよいのか、表現面で多い間違いはどんな

ものなのか、こういう指導のヒントはすべて生徒さんの答案から学ぶことができます。

最近の生徒さんの答案を見ていて多い誤りは、内容面例えば、どんなテーマの問題にも英検の英作文の型を当てはめがちだということです。例えば、「今までで一番感動した経験は何ですか」というような個人の経験を求めるテーマに対しても、結論を述べた後に I have some reasons. First, ... Second, ... と書くような生徒さんがいますし、また、理由を列挙するにしても、1つ1つの理由をまったく説明せず、ただ列挙して終わってしまう答案も多く目にします。一方、表現面例えば、浮かんだ日本語の文構造をそのまま英語にしまったような答案が最難関大を目指す生徒さんでも少なくありません。特に、but と however のように、日本語から置き換えやすくて役割がまったく異なるものについては、その違いに無自覚なものが目立ちます。

ライティングにおいては、特に動詞・名詞・代名詞・形容詞・副詞といった基本品詞に関する単元や、接続詞・関係詞のような文構造に直接関わる単元は非常に重要です。そして、こういった文法的な観点は、実際に書かせることを伴う場面でなくても、文法やあるいはリーディングの指導の中でも意識的に指導していくことが大事であると考えています。近年は文法の指導がとかく忌避されがちな傾向にあります。が、「文法問題を解くための文法指導」ではなく、「書くためや読むための文法指導」という観点で文法の指導を再構築していくことが重要ではないでしょうか。

### 5. 最後に…バランス取れたライティング指導へ向けて

以前と比べて高校生が英語を書く場面は増えているはずですが、もし普段のライティング指導が英検対策に偏っていたり、文法的な土台を軽視したりしていれば、ライティング指導としてバランスを欠いているように思います。大学合格をほぼ唯一の目的とする予備校の指導現場は、高校よりも単純化した空間なのかもしれませんが、大学が入試で課すライティングとは、同時に大学入学後に必要な力の力であり、ひいては社会や研究の場に出てからも求める能力だと言えるでしょう。ここまで述べてきたように、大学入試を1つの軸にライティングの指導を構築するだけでも、取り組ませる問題の選択や生徒さんへのフィードバックの視点が自然とバランスの取れたものになっていくのではないのでしょうか。本稿が皆さまの指導の参考に少しでもなれば幸いです。

見たかもしれない風景

鵜沼公園にて。  
撮影 | 河西 遼



## 生徒のエンゲージメントが高まる 3 段階のプロセス



廣森 友人 (ひろもり ともひと)

明治大学教授

私たち英語教師は長年にわたり、生徒のやる気を引き出すことに苦心してきました。しかし、文部科学省の「全国学力・学習状況調査」などの報告を見ても、学校における生徒のやる気の問題は必ずしも改善されていないようです。そうした背景から、近年、教育に限らずビジネスや医療といった幅広い分野で注目を集めているのが「エンゲージメント」(engagement) という概念です。エンゲージメントは単に生徒のやる気を引き出すだけでなく、そのやる気が実際の行動に結びつくプロセスを理解しようとする枠組みであり、教師たちに、より実践的なアプローチを提供してくれます(廣森・和田, 2024)。

これまでの連載で見てきたように、エンゲージメントの特徴の1つは、多様な側面から構成される複合的な概念だということです。代表的な例として、行動的、認知的、感情的、社会的エンゲージメントがあり、これらの各側面は密接に関連し合いながら、生徒の実際の学習行動を規定しています(各側面の詳細については、本連載 Vol.1~5を参照)。

さらに、エンゲージメントは文脈や状況によって、その度合いが大きく変化するという特徴もあります。この特徴には、プラスの面もマイナスの面もあります。例えば、研究者にとっては、周りの影響を受けながら刻一刻と変化するエンゲージメントは、その精緻な測定と妥当な評価が難しいという“challenging”な概念です。一方、教師にとっては、たとえば生徒が目の前の課題に集中できていなかったり、周りの生徒と協力して課題に取り組めていなかったりしたとしても、適切なサポートによってその状況を改善できる可能性があるという点で、“encouraging”な概念とも言えるでしょう。

### POINT 1

**エンゲージメントは多面性と可変性を兼ね備えた概念である。**

一般に、生徒のエンゲージメントを引き出すプロセスは、大きく3つの段階に分けられます(図参照)。具体的には、①エンゲージメントの土台作り(教師と生徒の良好な関係構築、支援的な教室環境の創出など)、②エンゲージメントの喚起(授業の最初に強い印象を与える初頭効果の活用、教材の魅力をも物理的/活動的/内容的に高めるなど)、③エンゲージメントの維持(適度な難易度の課題設定、それに合わせたフィードバックの提供など)です。各段階は必ずしも直線的に進むわけではなく、循環的に繰り返すことで、より強固なエンゲージメントが形成されます。

図: エンゲージメントのプロセス



図: エンゲージメントのプロセス

教師がこの段階的なプロセスを理解することで、生徒のエンゲージメントレベルを把握し、各生徒のニーズに応じた指導が可能となります。一方、生徒も自身のエンゲージメントを認識することで、自己の学習経験への理解が深まり、自己効力感や達成感の向上が期待できます。つまり、エンゲージメントの段階的理解は、教師にとっては生徒一人ひとりに応じた効果的な指導方法を設計するための基盤となり、生徒にとっては自身の学習を深く理解し、自らの学習プロセスを主体的にコントロールするための重要な枠組みを提供するのです。

### POINT 2

**エンゲージメントは土台作り、喚起、維持といった段階を経て高められる。**

次回以降、このプロセスを念頭に置きながら、生徒のエンゲージメントを最大限に引き出すにはどうしたら良いのか、その具体例を紹介していきます。

### 参考文献

廣森友人・和田玲(編著). (2024). 『エンゲージメントを促す英語授業——やる気と行動をつなぐ新しい動機づけ概念』大修館書店。

### Profile

主な著書に『改訂版 英語学習のメカニズム: 第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法』『動機づけ研究に基づく英語指導』(大修館書店)。学生のエンゲージメントを高めるために日々奮闘中!



## 英文法の「なぜ」?

朝尾 幸次郎 (あさお こうじろう)

英語研究者

Vol.06

### 不定詞の意味上の主語：forの謎



#### Q 不定詞の意味上の主語に for を使うのはなぜ？

次の文で、for her は不定詞 to accept the fact の意味上の主語と教わります。

It was hard *for her* to accept the fact.

彼女がその事実を受け入れるのは難しいことだった。

この for を「…に」と読み、「彼女にはその事実を受け入れるのは難しいことだった」と読むことはできませんか？

#### A 現代英語では不定詞の意味上の主語と読みます。

不定詞の意味上の主語に使う for は元来、「…にとって」という意味でした。ところが、その後、意味のつながりから主語と理解されるようになったのです。

#### 古い時代の英語では

1000年前の古英語と呼ばれる時代、名詞や代名詞には主格（…は / が）、対格（…を）、属格（…の）、与格（…に）という格がありました。例えば、古英語の名詞 <sup>マン</sup>man（人）の単数には次のような格がありました。属格は今で言う「所有格」です。

主格 マン	対格 マン	属格 マネス	与格 メン
man	man	manes	men
人（は / が）	人（を）	人（の）	人（に）

次は旧約聖書『創世記』2章18節です。アダムを造った神は、1人ではさびしかろうとイブを造ることにしました。その神のことばです。与格の <sup>メン</sup>men に注意して見てみましょう。

ニス ナー ゴード スィスム メン アーナ トー ウニエンネ  
Nis na god ðisum men ana to wunigenne  
= is not not good this man alone to live  
この人間にとって1人で暮らすことは良くない。

最初の nis は is not の意味、na は現代英語の no ですが、古くは not と同じようにも使いました。ここでは not と対訳しています。否定を重ね、否定を強調しています。次の god は good（良い）、ðisum は this（この）、men は上で見たように man（人）の与格で、「人に（とって）」という意味です。そして、ana は「1人で」という意味の副詞、to は今の to と同じく不定詞に使う to です。最後の wunigenne

は「住む」という意味の動詞で、ドイツ語の <sup>ヴォーネン</sup>wohnen（住む）とつながりがあります。

さて、上の例の men は単数与格で、「人に（とって）」という意味です。また、その前の ðisum (= this) も指示代名詞 <sup>セス</sup>ðes (= this) の与格です。したがって、ðisum men は「この人間にとって」という意味になります。その後続く to wunigenne は to のついた不定詞で、「住むことは」という意味です。合わせて ðisum men ana to wunigenne は「この人間にとって1人で暮らすことは」という意味になります。

#### 与格の代わりに使われた for

古英語の時代が終わると、英語に一大変化が起きました。名詞は属格（所有格）だけを残り、格変化が消えたのです。古英語の名詞 man（人）にあった主格・対格・属格・与格という格は、主格・目的格の man と所有格 man's の2つになりました。かつての主格・対格・与格は形の上で区別できなくなりました。

そこで「…に（とって）」という与格の意味は前置詞 for（…にとって）で表しました。つまり、かつての〈名詞の与格 + to 不定詞〉は〈for + 名詞の目的格 + to 不定詞〉で表すようになったのです。聖書もこのような場合、for を使うようになりました。次は1976年に出た聖書 *Good News Translation*（元 *Good News Bible*）の例です。

It is not good *for the man* to live alone.

#### 意味上の主語を表すようになった for

では、「…に（とって）」という意味を表した for が不定詞の意味上の主語を表すようになったのはなぜでしょう。それは意味のつながりからです。不定詞は *To see is to believe*.（見ることは信じること）のように、そもそも主語を想定しません。ところが、for the man *to live alone* のような言い方では、the man（その人間）と to live alone（1人で暮らす）の間に〈主語 + 述語〉という関係が自ずと感じられます。そのため、〈for + 名詞・代名詞〉は不定詞の意味上の主語と解されるようになりました。現代版の聖書には、the man をはっきりと文の主語に立てているものもあります。次は1952年に出た *Revised Standard Version*（改訂標準訳聖書）の例です。

It is not good that the man should be alone;

この that the man should be alone は for the man to be alone と同じ意味です。このようなわけで、今では不定詞に使う for は意味上の主語を表すと理解されます。日本語の聖書もこの部分は「人が独りでいるのは良くない」（聖書協会共同訳）としています。

#### Profile

『英語の歴史から考える 英文法の「なぜ」』『同2』が大好評発売中。



## 教育ニュース

2024年 1月	文部科学省は都道府県と政令指定都市の各教育委員会が実施している教員採用選考について、第1次選考を各教委と共同で実施するための検討会を立ち上げ、議論を開始。
2月	文科省は大学入学共通テストの平均点（最終集計）を公表、英語「リーディング」は51.54点で共通テスト移行後過去最低に、「リスニング」は67.24点で過去最高に。
5月	文科省は23年度の英語教育実施状況調査の結果を公表、政府の求める中学生「英検3級相当以上」、高校生「英検準2級相当以上」の英語力に達した割合が、調査開始以来、初めて50%を超える。
6月	子供と接する仕事をする人の性犯罪歴の有無を確認する「日本版DBS」を導入する法律が成立、学校など子供に関わる施設で働く人や就業する人の性犯罪歴の確認を義務付け。
7月	医師の面接が必要な「高ストレス」状態の教職員は11.7%で過去最高を記録（公立学校共済組合調査）。／文科省は24年度の全国学力・学習状況調査の結果を公表、中学国語の平均正答率は58.4%で過去最低を更新。 <a href="#">▶ PICK OUT①</a>
8月	中央教育審議会は教職調整額を現行の給料月額4%から10%以上に引き上げることなどを盛り込んだ教員不足解消に向けた答申を盛山正仁文部科学相に提出。 <a href="#">▶ PICK OUT②</a>

### PICK OUT

#### ① 「中学国語」正答率最低 24年全国学力テスト

文部科学省は2024年度全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果を公表した。全国の平均正答率は小学校の国語が67.8%（前年度比0.4ポイント増）、算数が63.6%（同0.9ポイント増）、中学校の国語が58.4%（同11.7ポイント減）、数学が53%（同1.6ポイント増）だった。中学国語は19年度に現在の出題形式となってから最低を記録。「話す・聞く」「読む」「書く」の技能別でみると、「読む」の正答率は48.3%で、前年度に比べ15.7ポイント下がった。問題形式別では、記述式の正答率が46.1%で、無解答率が15%近くに上る問題があるなど、思考力や表現力が必要な問題に課題がみられた。一方、同時に実施された生活習慣に関する調査では、SNSの利用や動画視聴の時間が長いほど正答率が低くなる傾向がみられた。平日1日にスマホでSNSや動画視聴に費やす時間を「1時間以上」と答えた中学生は79%。これを中学国語の成績との関係でみると、SNSの利用時間が「30分未満」と答えた生徒の正答率は63.9%だったのに対し、「4時間以上」の生徒は51.6%で、12.3ポイントの差があった。同様の傾向が小中学校のどの教科でもあり、SNSなどの利用時間が増えるほど成績が落ちる傾向が浮き彫りになった。

#### ② 教員確保へ処遇改善 「調整額」10%以上 中教審答申

中央教育審議会（中教審）は、公立学校教員の確保に向けた総合的な方策をまとめ、盛山正仁文部科学相に答申した。残業代を支払わない代わりに一律に支給する「教職調整額」を現行の給料月額4%から10%以上に引き上げることを提言した。実現すれば半世紀ぶりの増額となる。文科省は25年度予算案の概算要求で調整額を3倍超の13%にすることなどを盛り込み、今後は財源確保が課題となりそうだ。答申は処遇改善策として、業務負担の大きい学級担任や管理職への手当を手厚くするなど勤務状況に応じた給与体系の見直しを提

示。若手教員をサポートするポストを新設し給与面で優遇を図る。勤務環境の改善に向け、小学校の教科担任制を3、4年生に拡大。終業から始業までの時間を11時間以上空ける「勤務間インターバル」の導入推進を求めた。このほか、時間の管理が学校の働き方改革を進める上で重要であるとし、教育委員会ごとに教員の在校時間を公表することを要望。残業時間の目標値を「全教員が月45時間以内」と明記し、将来的に月20時間程度を目指すとした。答申を受け、文科省は教職調整額増額や小学校教科担任制の前倒しなどの関連費用を25年度予算の概算要求に計上。来年の通常国会に教職員給与特別措置法（給特法）の改正案を提出する見通しだ。



## 新しい『ベーシックジーニアス』が活躍する英語授業とは？ —— 生徒の心に残る辞書指導を考える ——

石原健志 (いしはら たけし)  
大阪星光学院中学高等学校教諭



### ■アナログの「紙の辞書」で生徒の心に「辞書」を残す

「紙の辞書」を使った「辞書指導」には「生徒が英語の辞書の使い方を覚える」という前提があるでしょう。英語の辞書に載っていることは、我々にとっては当たり前のことも生徒にとってはそうではありません。見出し語と訳語以外にも、品詞、発音記号、用例と和訳、文法・語法情報など、英語を学ぶ上で注目すべき情報がたくさん掲載されています。そのどれもが、生徒にとっては、英語の「分からないこと」を調べる時に役に立つものです。しかし、「調べて分かる」という経験を繰り返さないことには、この辞書の持つ魅力というのは分からないものです。そこにアクセスできる指導を行うことで、生徒の心に「辞書」が残り、将来にわたり辞書を頼りにした英語学習ができるようになるでしょう。

### ■新しい『ベーシックジーニアス』を英語授業に取り入れるには？ — 〈コアイメージ〉を利用する —

新しい『ベーシックジーニアス』の最大の特徴のひとつとして〈単語ボード〉が挙げられます。これは基本語「全46項目」について、中学生や高校生に知っておいて欲しい「コアイメージ」と「用法」を解説したものです。単に事実の羅列とするのではなく、大学受験も見据えた上で初学者にとって必要な知識とは何かを考えて書きました。

さらに、〈コアイメージ〉は、単語のイメージが印象に残るよう、単なる記号的なものではなく中高生が興味を持つ絵柄で作成しました。

against の例



close の例



上の against と close の例が示すように、〈コアイメージ〉のイラストはこれまでの英和辞書にはない発想で作られています。このコアイメージのイラストを使って「どんな場面で使われるのかな？」と教室で尋ねてみると良いでしょう。そうすることで、生徒たちの意見と辞書に書かれていることの「共通点」や「違い」に目を向けさせることができます。

また、close の例では「ドア、窓だけでなく、目や口、店、道路など…」のように、「何が閉まるのか」・「何を閉めるのか」が具体的に書いてあります。このように、コアイメージの解説には〈選択制限〉と呼ばれる「どんな語と結びつきやすいか」という情報を入れています。この情報をヒントにして、「どんな場面で使われるか」を具体的に予測させることもできるでしょう。このように、授業でコアイメージを扱うことは、「単語のイメージを持つこと」や「単語の選択制限を知ること」につながるチャンスになります。

### ■〈単語ボード〉を良質なインプットとして活用する

〈単語ボード〉には〈おさえておきたい意味と使い方〉〈知っておきたい意味と使い方〉という2つの項目があります。これらは、コアイメージとして扱った単語について、「よく使う表現」が掲載されています。〈おさえておきたい〉では詳しい解説や+αの知識を、〈知っておきたい〉では頻出のコロケーションを掲載しています。

英語の授業では、これらの〈おさえておきたい〉と〈知っておきたい〉を「良質なインプット」として紹介するのが良

いでしょう。そうすることで、生徒たちは具体的な単語の使い方を学ぶことができます。例えば、上の〈コアイメージ〉でも扱った against について紹介します。

〈おさえておきたい〉の例

<b>意見に「反対」なら against!</b> I'm <b>against</b> the idea. (私はその考えに反対だ) のように、against はある意見に反対であることを示すのに使われる。これは、the idea が〈壁〉となり、それに立ち向かうイメージから生まれる意味である。賛成であることを示すのは for。Are you for or <b>against</b> this plan? (この計画に賛成ですか、反対ですか)	
--	---

〈単語ボード〉ではあえて基本的な事項にスポットライトを当て、しっかりと説明をしています。

授業では、生徒に英文だけではなく説明も音読してもらい、本質の理解に努めさせましょう。〈おさえておきたい〉の説明を理解しながら、そこに出てくる英文を「音読」や「筆写」などで繰り返し学習することで、必ず英語の本質の理解が深まります。これは、単に英文を丸暗記することに勝る有効な学習方法と言えるでしょう。

さらに、〈知っておきたい〉では、ターゲットとなる単語の頻出表現を掲載しています。

against の例

知っておきたい意味と使い方
<b>lean against A 「Aにもたれかかる」</b> Don't lean against the fence. フェンスにもたれかからないで。
<b>the fight against A 「Aとの闘い」</b> the fight against the climate change [global warming / poverty / food waste] 気候変動 [地球温暖化 / 貧困 / 食品廃棄] との闘い。

これらはさまざまな実例を観察して「大学受験までにこんな表現を知っておいて欲しい」と思いながら書いたものです。初学者に向けた授業ではこれらのフレーズを「音読」および「筆写」することで定着させるのが非常に有効な学習方法だと思います。

これだけでは先ほどの〈おさえておきたい〉とあまり変わらないので、ここでは中級・上級者に向けた英語授業の例を示したいと思います。実際、〈知っておきたい〉の表現を「生

徒の心に残る」ようにするためには、その表現が「実際の英語でも使われる」という実感を持ってもらうことが大切です。つまり、「辞書の世界」と「現実世界」を結び付ける必要があります。

中・上級向け〈知っておきたい〉が心に残る授業ワークシート例

<p>①から③について「なにが」「どこに」lean against しているか、それぞれ答えなさい。</p> <p>① As I crossed the room, I noticed that there was a wheelchair folded up and <b>leaning against</b> the back of her armchair.</p> <p>② When you are waiting to meet someone in a crowded place, you may find yourself <b>leaning against</b> a pillar in front of a shop</p> <p>③ I point in the direction of some bicycles <b>leaning against</b> the library wall.</p>
--

このワークシートでは、lean against の実例を大学入試から選んで掲載しています。つまり、辞書に書かれていることが実際の大学入試の英文で何例も出ていることを示しています。その上で、lean against が表す「何がどこにもたれかかっているか」を読み取らせるタスクを課しています。このように「辞書×実例」のワークシートを作成することで、生徒に辞書の内容が実例の理解に役立つことを示すことができます。辞書と実例の結びつきは、辞書を日常的に使う我々には当然のことに思えますが、それも生徒には新鮮なポイントなのです。

## ■まとめ

新しい『ベーシックジーニアス』は「初学者のための最新の紙の辞書」です。「紙の辞書」で「辞書の姿」を知ってはじめて、電子辞書や辞書アプリも役立つでしょう。我々教員はあらためて紙の辞書の使い方を生徒に教えるつもりで教壇に立つべきかもしれません。

## 英語学習に最適！ 「ジーニアス英和辞典」シリーズ



B6変型判・1890ページ  
価格：本体2,900円＋税10%  
ISBN：978-4-469-04190-3

### ベーシックジーニアス英和辞典 第3版

[編集主幹] 原川博善・畠山利一

英語が基礎からわかる「ジーニアス」待望の改訂！

英和約55,000項目、和英約24,000項目を収録。

高校卒業までに必要な語数をきちんとおさえ、見やすい紙面とわかりやすい記述で、はじめて英和辞典を引く初級学習者にも配慮したやさしい英和辞典の最新版。

高校1年生だけでなく、意欲的な中学生にもおすすめです。

語彙の習得を助けるコラムや図解（単語ボード→16ページ）を増強し、日常的な英語を身につけられる巻頭カラーページや、英語の発信に役立つ和英小辞典もさらに充実。

英和辞典部分すべてが検索できて音声も聞ける Web 辞書（2025年春提供開始）と「活用問題集」付き。



B6変型判・2448ページ  
価格：本体3,600円＋税10%  
ISBN：978-4-469-04187-3

### ジーニアス英和辞典 第6版

[編集主幹] 南出康世・中邑光男

英和辞典売り上げ No. 1！ 学習英和の決定版

収録語句数は約10万6000項目。

充実の語数で、難関大を目指す高校生に最適。

コーパスや学習指導要領を参考にした重要語のランクを明示しているので、学習の目安にできます。

英語の疑問に答えるコラムを多数設けており、学習者の英語への興味が深まり、学習の手がかりにもなります。

使用頻度に合わせた語義配列、使用実態に合わせた用例、また、「つなぎ語（句）」の解説を具体例とともに新設。長文読解はもちろん、プレゼンテーションや英作文にも役立ちます。

機能を絞った WEB 辞書付き。



B6変型判・2208ページ  
価格：本体3,000円＋税10%  
ISBN：978-4-469-04185-9

### アクシスジーニアス英和辞典

[編集主幹] 中邑光男

英語学習の「軸」となる学習英和

英和約75,000項目、和英約25,000項目を収録。

『ジーニアス英和辞典』をベースに、日々の学習から大学入試対策まで高校生に必要な情報を網羅した中級辞典です。

英語に関する疑問にわかりやすく答える「Question Box」、発信に役立つ表現を場面別にまとめたカラーページ「Let's Talk in English!」、間違えやすい項目をリストにした「Typical Mistakes 100」など、コラムや付録も充実し、英語学習を助けます。

自著紹介



A5判/236pp.  
定価2,640円(税込)  
ISBN: 978-4469246728  
2023年

## 『中高ギャップを埋める 高校の英語授業6つの改善策』

金谷憲 編著

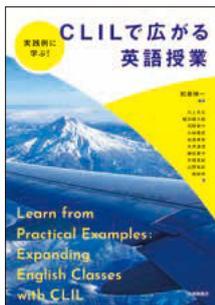
## 英語を使えるようにする高校授業法

英語力の基礎は中学英語です。しかし、習ったことがすぐ身につくということはありません。中学英語が身につくのは高校へ行ってからです。しかし、高校では、いきなり長く難しい英文に取り組ませるため、中高英語の大きなギャップが生まれます。そして、多くの生徒はそのギャップに堪えられません。

このギャップを埋めなければ英語力は育ちません。そこで、この本では、ギャップ解消のための工夫を6つ紹介しています。教材の①一部を捨てる。②易しくする。③④大小のラウンドで繰り返す。⑤英語コミュ系と論表系をあわせる。⑥中学英語練習の特別プログラムを作る。最後に、ギャップを埋めるための高校英語カリキュラム(ミラカリ:未来のカリキュラム)を提案しています。解決策は机上の空論ではありません。すべて、実際に実践されている(いた)ものです。この解決策で中高ギャップを埋め、英語を使える生徒を一人でも増やしてほしい。

(東京学芸大学名誉教授 金谷憲)

自著紹介



A5判/240pp.  
定価2,640円(税込)  
ISBN: 978-4469246766  
2024年

## 『実践例に学ぶ! CLILで広がる英語授業』

和泉伸一 編著

## CLILで、感動のある学習を

「CLIL (Content and Language Integrated Learning: 内容言語統合型学習) という名前を最近よく聞くようになったが、難しそうでよくわからない。」「上級者向きで、うちの学校では使えない。」「受験対策で忙しくて、CLILなんて言ってもらえない。」「こういった様々な声を聞くにつけ、誤解を解くためにも、またCLILについてもっと理解を深めてもらうためにも、CLILの実践例を授業風景の記述とともに紹介する書籍の必要性を感じていた。そこで企画したのが本書である。言葉の伝える「内容」を大事にし、学習者のニーズに沿った「言葉」の指導や支援を組み込み、さらに生徒の「思考」を刺激して、「協学・文化」を意識した授業を行うのがCLILの肝である。本書で紹介されている実践報告を通じて、どのようなCLIL授業が実際に可能かを知り、その大いなる可能性と柔軟性を身近に感じてほしい。

(上智大学教授 和泉伸一)

自著紹介



A5判/200pp.  
定価2,640円(税込)  
ISBN: 978-4469246735  
2024年

## 『エンゲージメントを促す英語授業——やる気と行動をつなぐ新しい動機づけ概念』

廣森友人・和田玲 編著

## 「夢中」を引き出す授業デザイン

人が夢中になって物事に取り組む心理状態のことをエンゲージメント(EG)と呼びます。私たち教師はいつも、生徒たちが目を輝かせながら夢中になって学習に取り組む姿を見たいと願っています。夢中を引き出す授業の実現には、4つのEG(感情的EG・認知的EG・行動的EG・社会的EG)の概念を理解した上で、これらを生み出すメカニズムを知り、授業に応用する道筋(EGの喚起・維持・土台作り)を明確にすることが大切です。あとは、百聞は一見にしかず。小中高大における優れた実践例を参照し、先生方の教室でも応用可能な原理を見出していくとよいでしょう。生徒たちの学習行動が大きく躍動し始めるはずですよ。こうした一連の内容をわかりやすくご紹介する本を書きました。それが本書『エンゲージメントを促す英語授業』です。生徒と共に豊かな教室の実現を目指す先生方の助けになればと願っています。ぜひご一読ください。

(ウィーン大学研究員 和田玲)

# ベーシックジーニアス 英和辞典

## BASIC GENIUS

第3版

English-Japanese Dictionary  
Third Edition

2024年11月上旬発売!

### 基礎からわかる英和辞典

英語初級～  
大学入試まで



英和 約 55,000項目

和英 約 24,000項目

【編集主幹】  
原川博善・畠山利一  
2色刷・B6変型判・  
函入・1,890ページ  
定価3,190円  
(本体2,900円+税10%)  
ISBN=978-4-469-04190-3



最新情報  
はこちら

大修館書店



大修館英語通信 What's New!

2024年10月15日発行 第8号

編集人：『大修館英語通信 What's New!』編集部

発行人：鈴木一行

発行所：株式会社 大修館書店

〒113-8541 東京都文京区湯島 2-1-1

電話(03)3868-2292(編集部) / (03)3868-2651(営業部)

[出版情報 URL] <https://www.taishukan.co.jp/>

[振替] 00190-7-40504

表紙・本文デザイン：広報技術研究所

表紙イラスト：オザワミカ

印刷・製本：文唱堂印刷株式会社

〔本誌のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。本誌を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。〕